

1. 略歴

- 1986年3月 東京大学文学部美術史学専修課程卒業（文学士）
1989年3月 東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了（文学修士）
1997年2月 フライブルク大学哲学部 Ph.D
1997年4月 電気通信大学電気通信学部助教授（～1999年3月）
1999年4月 東京学芸大学教育学部助教授（～2006年3月）
2006年4月 東京大学大学院人文社会系研究科助教授
2007年4月 同上准教授
2011年3月 同上教授

2. 主な研究活動**a 専門分野**

西洋美術史

b 研究課題

デューラーを中心とした中近世ドイツ美術、聖遺物と美術との相関性、イメージ（像）の生動性、比較宗教美術史

c 主要業績**(1) 編著**

Akira Akiyama/Kana Tomizawa(Kitazawa) eds., *Images and Visions in Christian and Buddhist Culture*, Tokyo 2012.

(2) 論文

秋山聰、「扮装好きな二人のアルブレヒト アルブレヒト・デューラーと枢機卿アルブレヒト・フォン・ブランデンブルク」、『SPAZIO』、69、2010.9

秋山聰、「「肖像」名声の存続のためのメディア」、『デューラー版画・素描展カタログ』、国立西洋美術館、2010.10

秋山聰、「足跡と足裏の図像学：デューラーの足裏への執着についての一試論」、『SPAZIO』、70、2011

秋山聰、「イメージとヴィジョン 東西比較の試み」、『死生学研究』16号、2011

秋山聰、「発展的コメント：前近代におけるデューラー受容」、『言語文化』28、72-76頁、2011

Akira Akiyama, 「Interrelationship of Relics and Images in Buddhist and Christian Traditions: Comparative and Performative Aspects」、『*Spatial Icon: Performativity in Byzantium and Medieval Russia*, ed.by Alexei Lidov』、pp.643-660、2011

秋山聰、「初期近世ドイツ美術における検閲をめぐるノート」、『西洋美術研究』、16号、141-153頁、2012.6

秋山聰、「西洋中近世における像を用いた儀礼をめぐるノート」、『美術史論叢』、28、74-86頁、2012.3

Akira Akiyama, "Images and Visions in Christian and Buddhist Culture", in: Id./Kana Tomizawa(Kitazawa) eds., *Images and Visions in Christian and Buddhist Culture*, Tokyo 2012.3.

(3) 解説

秋山聰、「グンプ、グッテンブルン、ベルクハイデ、ベックリー、フォン・シュトックの展覧会出品作品のカタログ作品解説および略歴」、『ウフツィ美術館自画像コレクション展カタログ』、2010.9

秋山聰、「デューラー版画・素描展出品作品10点のカタログ解説（小枢機卿、大枢機卿、フリードリヒ賢明公、ピルクハイマー、伝マルガレーテ・デューラー、メランヒトン、エラスムス、ファルンビューラー、聖コロマンとしてのシュタビウス、オーストリアの守護聖人）」、『デューラー版画・素描展カタログ』、2010.10

(4) 翻訳

監訳（市川佳世子、甲斐義明訳）、ミケーレ・バッチ、「ビザンチンと西洋中世における生動するイコン：比較的観点から」、『死生学研究』15号、2011年

監訳（甲斐義明、荒川仁美訳）ハーバート・L・ケスラー、「雲に描く：中世のイメージを現実として、イメージとして読む」、『死生学研究』16号、2011年

(5) 学会発表等

国内、秋山聰、「西洋中近世における像(イメージ)の生動性をめぐって」、地中海学会研究会、2010.4.24

国内、秋山聰、「デューラーのイタリア旅行」、地中海学会秋季連続講演会、ブリヂストン美術館、2010.10.9

国内、秋山聰、「発展的コメント：前近代のデューラー受容」、デューラー・シンポジウム、明治学院大学、2011.11.17

国内、秋山聰、「イメージとヴィジョン 東西比較の試み」、G-COE 公開・国際シンポジウム「イメージとヴィジョン 東西比較の試み (死生と造形文化 III)」、2011.2.13

国際、秋山聰 (M. シュトイ博士と共同で)、「美術における宗教の客体化についての比較文化的研究セッションについて」、国際美術史学会ニュルンベルク世界大会のための座長会議、ニュルンベルク、ゲルマン国立博物館、2011.5.15

国内、秋山聰、「ベックリオンとフィレンツェ」、地中海学会秋季連続講演会、ブリヂストン美術館、2011.11.19

(6) 啓蒙

秋山聰、「芸術家の神話学」(連載)、『フェーマス』、2010年4月号～2012年3月号

秋山聰、「西欧中近世における像(イメージ)の生動性をめぐって」、『地中海学会月報』、332、2010.9

秋山聰、「デューラーとイタリア旅行」、『地中海学会月報』、336、2011.1

(7) 予稿・会議録

国際会議、Akira Akiyama、「Human Remains and Figurative Images: A Comparison between Buddhist and Christian Practice」、*Dialogue on Death & Life: Views from Egypt*, Biliotheca Alexandrina, Alixandria, Egypt, 2010.10.3 (『*International Symposium Dialogue on Death & Life: Views from Egypt*』、pp. 6-7 (アラビア語および英語))

(8) 会議主催 (チェア他)

国際、ミニ・シンポジウム「礼拝像の生動性をめぐって」、実行委員長、チェア、東京大学、2010.5.13

国内、「展覧会「ウフィッツィ美術館自画像コレクション展」」、実行委員、損保ジャパン東郷青児美術館、2010.9.13～2010.11.14

国内、「美術史学会東支部大会シンポジウム「自画像を考え、自画像から語る」」、チェア、「自画像の視点・服装・目的・ほか」、2010.10.23

国際、「エジプト・日本学術交流シンポジウム：死者の追悼と文明の岐路 2011年」、チェア、2011.9.23

(9) 共同研究 (産学連携除く)

国内、参画、国立民族学博物館、「物質性の民俗学」、2011～

(10) 研究テーマ

G-COE「死生学の展開と組織化」事業推進担当者、～2012.3

科学研究費補助金、基盤研究(B)、「像(イメージ)の生動化についての比較美術史的研究」、研究代表者、～2011.3

科学研究費補助金、基盤研究(B)、小佐野重利、研究代表者、「国家もしくは都市の顕彰装置としての自画像コレクションの歴史文化史的研究」研究分担者、～2011.3.

科学研究費補助金、基盤研究(B)、「美術と宝物の相関性についての比較美術史的研究」、2011.4～

科学研究費補助金、基盤研究(B)、小佐野重利、研究代表者、「西欧17世紀以降の王侯の絵画コレクションにおける複製絵画の影響」、研究分担者、2011.4.～

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

非常勤講師、早稲田大学大学院文学学術院、「西洋美術史」、2010.4～2010.9

非常勤講師、青山学院大学文学部、「芸術史特講(2)」、2010.4～2012.3

非常勤講師、神戸大学大学院文学研究科・文学部、「西洋美術史」、2010.7

ブリヂストン美術館地中海学会主催土曜講座講師、2010.10; 2011.11.

(2) 学会

地中海学会常任委員、2010.4～

美術史学会常任委員、2010.4～2011.5.

国際美術史学会国内委員会委員、2010.4～

(3) 学外組織（学協会、省庁を除く）委員・役員

国立西洋美術館、客員研究員、2010.4～2011.3.

国立民族学博物館、共同研究員、2011.4～

鹿島美術財団推薦委嘱者、2010.4～

雑誌 西洋美術研究、編集委員、2010.4～

オンライン・ジャーナル *Art in Translation*, Member of the Advisory Board, 2010～

学術雑誌（イタリア）*Iconographica*, Member of the Advisory Board, 2012～